

平成23年度耕作放棄地解消事例調査票

NO.

協議会名	雲南市耕作放棄地解消対策協議会
平成22年度実施地区名	三代地区
地区の農地面積	119.00ha
うち耕作放棄地	48.40ha
ほ場数	3
実証ほ対象面積	16a
地目	水田 畑 樹園地
色分け	緑 黄色
荒廃の程度・必要な作業	雑草繁茂 樹木侵入 人力作業 農業機械 重機 その他()
荒廃の理由	高齢化 労働力不足 後継者不在 鳥獣害 その他()
取組主体	舟木 清 外農業者(地元自主組織)
実施期間	再生作業：再生作業H22年4月上旬から6月下旬
実施事業費	全事業費(594,832円) 交付金(377,415円) 県費() 市町村費() その他()
作業内容	刈払 整地 土壌改良 定植 用排水整備 客土 その他()
導入作物	そば、らっかせい、麦、野菜等
出荷先	産直市(みちの駅)、各種イベント
取組のきっかけ	三代地区においては、地主不在農地の発生や農業従事者の高齢化率が高く、有害鳥獣による農作物の被害発生割合も多く、近隣農地に悪影響をもたらしていた。したがって、荒廃農地が広がり、地域の景観を損ねていた。そこで、営農と同時に「地域の美化活動」という認識から、地域をきれいにしようという取り組みを始めた。
調整経緯	地主の方も荒れているので何とかしてほしいとの思いがあり、また、舟木さんとしても荒廃農地が点在する三代地区の状況を何とかしなければならぬと考え、契約をして、事業活用にて解消・営農に取り掛かった。
現在の状況	麦・らっかせい・そば・野菜を栽培しながら、小麦をうどんに、野菜をキムチに加工して産直やイベントで販売している。
今後の計画	H23～H26 麦・そば・らっかせい・野菜等を栽培・加工・出荷
その他	(現地写真)

調査対象地区は平成22年度実施地区(平成22年度報告書に記載の地区とする)

特に取り組みのきっかけ、調整経緯、現在の状況については、取り組み実施者から聞き取りをお願いします。

導入作物、出荷先は計画時ではなく今年度の作付状況等を基に記載願います。

現地写真は、再生までの写真と現在活用されている状況(栽培作物等)の写真を添付いただきますようお願いいたします。



No. _____

H22解消前

舟木 清



H24.3.2

舟木 清



H24.3.2

舟木 清



H24.3.2

舟木 清



H24.3.2

舟木 清



H24.3.2

舟木 清